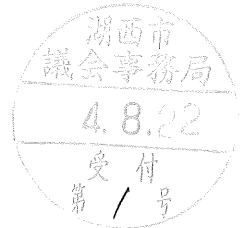


一 般 質 問 通 告 書

令和4年 8月 22日

前
午9時08分 受付
後



下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年 8月 22日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 加藤 弘己 (印)
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	だれもが災害から身を守れる安全な地域づくりについて
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	だれもが災害から身を守れる安全な地域づくりについて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>電車の中を見渡したところ、スマートフォンを操作している人がいかに多いか。今ではスマートフォンなしの暮らしは考えられません。</p> <p>その一方、高齢者など、そういったデジタル技術を容易に利用することができない方もいます。</p> <p>総人口が減るのにもかかわらず高齢者が増えそれを支える若者が減る中、近年、大雨による洪水やがけ崩れ被害が多発しており、遠くない将来には南海トラフ地震と首都直下型地震が起きるといわれています。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>災害が発生してもすべての市民が安全に避難・生活できる地域づくりを目指すため。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 先月、8月は全国的に特に東北や北海道等で記録的な大雨により大きな被害が起きたことを記憶しております。行政は住民に対し緊急安全確保や避難指示等を発令しております。令和3年度、4年度の避難指示、避難人数の実績を伺います。</p> <p>2. 「避難行動要支援者」や若年層と比較してインターネット等のデジタル技術を容易に利用できない高齢者への支援・啓発には「公助の限界」があると感じるが、自治会等への支援要請はどのように考えているか伺います。</p> <p>3. 「公助」とともに一層重要となるのが互いに近くの人が助け合う「共助」であります。近くの人が助け合う仕組みを作り、育成強化することが自治体の重要な役割であると思うが市の考えを伺います。</p>	

4. 小・中学生が、災害の恐ろしさや、避難生活など災害リスク、防災に関する知識を身に着けることは、市の進める「自助」「共助」の理解に繋がると思うが、防災教育の取り組みについて伺います。

5. 近年、異常気象の影響から、50年に一度の大雨が毎年のように降り、また、南海トラフ巨大地震の発生も想定されている状況下、災害等で命と財産を失わない社会を築かなければなりません。

先般行われました議員全員協議会で、危機管理部門から情報提供をいただき、平成27年3月に出された、静岡モデル検討会中間報告に基づき進めていた、命山や避難タワーの整備等、命を守る対策が終わり、財産を守る対策を進めると報告がありました。

災害対策は、お金と時間を要しますが、住民が安心して暮らせるまちづくりに向けて、現在、市が準備を進めている計画の概要をお聞かせください。

以上

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

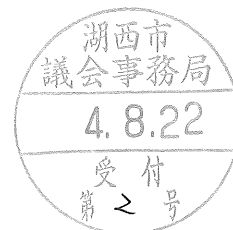
令和 4 年 8 月 22 日

前
午 9 時 44 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 4 年 8 月 22 日

湖西市議会議長 馬場衛 様



湖西市議会議員 加藤治司



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	令和 4 年度重点施策・津波防災対策について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	令和4年度重点施策・津波防災対策について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>令和4年度も、早や半年が過ぎようとしている。今年度の事業計画と予算は3月定例会で可決され、目玉事業や重点事業が実施されているが、その中で市民の生命に係わる津波防災対策について確認する。</p> <p>平成23年に発生した東日本大震災後に発行された「津波防災地域づくりに関する法律」に基づき、静岡県は「津波対策アクションプログラム2013」を策定し津波対策に取り組んでいる。</p> <p>湖西市も、「湖西市地震津波アクションプログラム2013」「湖西市津波避難計画」の下、平成26年から津波避難空白域の解消に取り組み、令和3年の高師山避難タワーの完成により、避難空白域が解消できた。</p> <p>次のステップとして今年度の重点課題である「津波防災地域づくり推進計画」の策定が計画されている。</p> <p><u>*静岡県津波対策アクションプログラム2013(2013～2023)重点施策</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1)津波を防ぐ(防潮堤等、津波防御施設の整備) 2)津波から逃げる(避難計画・ハザードマップ) 3)津波に備える(避難場所空白域の解消) <p>(質問の目的)</p> <p>本年度の重点施策に計画されている「海釣公園防潮堤の整備」「ハザードマップの更新」「津波防災地域づくり推進計画」進捗状況を確認する。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 海釣公園防潮堤の整備について <p>静岡県が進めている「今切口防潮堤」「海釣公園命山」の工事と湖西市で計画している「海釣公園防潮堤整備」との関連及び事業計画を伺う。</p>	

2. ハザードマップの更新について

今回の更新内容と作業の進捗状況を伺う。

3. 津波防災地域づくり推進計画について

- 1) 現存する「湖西市地域防災計画」と今回策定予定の「津波防災地域づくり推進計画」「湖西市津波減災計画」との位置づけを伺う。
- 2) 推進計画策定委託を公募型プロポーザル(企画競争入札)で実施し、審査の結果受託候補者が決定されたが、どのような方が審査委員となり、プロポーザル方式として評価の高かった内容を伺う。
- 3) 湖西市「津波防災地域づくり推進計画」について、国・県へどのような支援を要請する考えがあるのかを伺う。

以上

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和4年 8月 22日

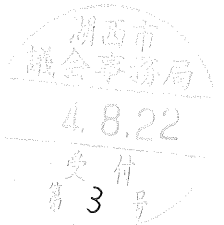
前
午10時 46分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年 8月 22日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 梅 浩幸 印
(署名又は記名押印)



質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	高校生の社会参画について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	高校生の社会参画について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>湖西市議会では平成 29 年から高校生を対象に主権者として、社会参画を目的とした意見交換を行っている。令和 3 年度は 3 回の意見交換の成果として「私たち高校生が将来住みたいと思えるまちづくりに関する請願書」を議長に提出、3 月議会で採択された。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>令和 4 年度は 11 月に高校生議会を計画している。将来の湖西を担う若者の提言が期待される中で、請願採択から 5 ヶ月が経過した。請願に対する湖西市の考えを確認し、高校生の社会参画を目的とした高校生議会への積極的な動機付けとする。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高校生からの請願を受け、湖西市の率直な感想を伺う。 2. 高校生でも使えるデマンドバス学割など移動手段の検討について湖西市の考えを伺う。 3. Instagram など若い世代への更なる湖西市の情報発信について湖西市の考えを伺う。 4. ショッピングモールなど商業施設の誘致について湖西市の考えを伺う。 5. サイクリングロードとパーキングエリアの整備について湖西市の考えを伺う。 6. 海や湖を活かした観光レジャー施設の誘致について湖西市の考えを伺う。 7. 11 月開催予定の高校生議会に対する期待と、高校生等、若年者の社会参画について湖西市の考えを伺う。 	

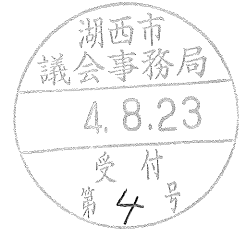
※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和 4 年 8 月 23 日

前

午²時 45分 受付
後



下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 4 年 8 月 23 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員

福永桂子[Ⓢ]

(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	「育児・介護休業法」改正への対応について、男性参画応援の視点から
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	「育児・介護休業法」改正への対応について、男性参画応援の視点から
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>令和3年6月9日に育児・介護休業法が改正され、令和4年4月1日に施行されました。法律の名称は「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」(以下「育児・介護休業法」といいます。)</p> <p>今回の改正は、大要二つの趣旨、育児休業制度の柔軟化と、男性が育児休業を取得しやすい職場環境の整備に分けられています。この改正により産後パパ育休制度(出生時育児休業制度)の創設や、雇用環境整備、個別周知・意向確認の措置の義務化などが行われることになりました。</p> <p>厚生労働省「令和2年度雇用均等基本調査」によると、男性の育児休業取得率は年々上昇しているものの、令和2年度で12.65%と、女性の育児休業取得率81.6%に比べ大きな差があります。「第5次男女共同参画基本計画」において、男性の育児休業取得率を2025年までに30%とすることを成果目標として設定しています。</p> <p>少子高齢化による人口減少が社会経済に深刻な影響を与えている中、出産・育児・介護等による労働者の離職を防ぎ、希望に応じて男女ともに仕事と育児等を両立できる社会を実現するためには、「育児・家事は女性がするもの」「男性が育児休業を取得するなんてありえない」等の考えや風潮を改め、社会全体で男性の育児休業取得を推進し、そこから男性の育児への継続的な参加を促すことが求められます。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>今回の法改正は事業主の協力を得ることを前提に制定されています。その効果ある展開を図るためには、基礎自治体としての支援も必要となると考えます。今回の法改正について湖西市としてどう受け止めどのように対応されるのかを明らかにします。</p>	

(質問事項)

1. 対象が事業者となっている今回の法改正について湖西市としてどう受け止めているかを伺います。
2. 各事業所では、今回の改正に伴い具体的な対応が必要と考えられます。その内容の周知は国が行う以外に、基礎自治体でも男女共同参画の観点から、積極的に周知すべきかと思いますが、どのように支援されるおつもりですか。
3. 今回の改正では、複数の法令が関わる改正となり、人事労務担当者の負担も増すことが予想されます。今後、多様化・複雑化していく、「雇用等における男女共同参画の推進と仕事と生活の調和」の分野における制度の推進について、湖西市としても精通した職員の育成が不可欠だと思いますが、対策は何かお考えですか。
4. 湖西市役所の男女別の育児休業取得率と平均育児休業取得日数をお伺いします。また、男性の育児休業取得率等を向上させるためには、職場環境の改善などの取組みが必要と考えますが、湖西市役所として具体的な取組みはされていますか。
5. 湖西市全体で本制度を浸透させるため、相談窓口の設置、説明会や勉強会などを開催するお考えはありませんか。
6. 希望に応じて男女ともに子育てしながら働き続けられる湖西市であるためには、今後、ワーク・ライフ・バランスを見直すなど、男女共同参画の視点から男性への支援の実施をする仕組みを作ることも重要です。このための取組みはお考えでしょうか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和4年 8月 24日

前
午 9時 14分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年8月24日

湖西市議会議長 馬場 衛様

湖西市議会議員 中村博行



質問方式 (○を付ける)	一問一答 一括の質問答弁
番号	主 題
1	市立湖西病院の病院経営について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	市立湖西病院の病院経営について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>毎年の決算を見ている中で疑問に思う点があるので資料をもとに伺い、病院経営の改善につなげたい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>自力で持続可能な病院となるため</p> <p>(質問事項)</p> <p>(1) 企業会計では経年で経営状況を把握することも必要です。直近6年間の決算額の推移表を決算付属書類に追加し、経営改善に活用できないでしょうか。</p> <p>(2) 例月監査結果をもとに決算処理が進められています。決算は3月31日で締め、その経理の状態を表すものです。決算の確定処理に令和2年度は3か月、令和3年度は2か月かかっています。これを1か月で処理できるようになればさらに経理の事務改善が進むと考えます。いかがでしょうか</p> <p>(3) 市の病院への補填分は3月の例月監査の利益余剰金、現金預金残高をみて決めるべきと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>(4) 病院経営に詳しいコンサルを入れて、医業費用を原価計算できる仕組みに変え、病院の自立化を進めるたらとよいと考えます。 コンサル主導の病院経営システムを導入してはいかがでしょうか。</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること